

高梁市  
議会  
だより

第28号  
2016年11月



9月定例会開催  
委員会報告

一般質問ここが聞きたい!

⑤ ③ ②

薬師院  
YAKUSHI IN

# 9月定例議会開催



平成28年第5回高梁市議会（定例）が、8月22日から9月9日まで開かれました。8月26日・29日・30日は、一般質問が行われ、10名が33項目にわたって質問しました。議案審議では、市長提出の議案10件のうち、3件を認定、7件を原案可決し、追加議案1件も適任と決しました。市民団体からの請願1件は、不採択としました。

## 賛否が分かれた主な討論内容

本会議では石部誠議員、宮田好夫議員、宮田公人議員の3名が認定第1号「平成27年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について」、議案第94号「平成28年度高梁市一般会計補正予算（第1号）」、市民団体から提出された請願第4号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について」を討論しました。

認定第1号について。新図書館・複合施設の経費が含まれている。吉備国際大学への支援金が優先的に予算計上され、市民生活支援とのバランスが取れていないので反対する。議案第94号について。新図書館・複合施設の施設整備工事が含まれている。教育施設である図書館が駅前の商業施設となり、次々と予算も膨らみ問題があり反対する。備中学校の統廃合については、地元合意のないまま強行された。生徒の教育環境や地域のわだかまり、教育委員会への不信感を払しょくさせるために努力されたい。

請願4号について。児童生徒の教育環境の改善のため採択を望む。

は極力なくす方向で執行を望む。全体的には限られた財源の中で効率的・効果的な予算執行を評価する。請願第4号について。子どもが一定水準の義務教育を受けられるのは国の責任。教職員給与の一部を国が負担しているが、2005年度に国の負担が2分の1から3分の1と減少した。子どもたちに行き届いた教育を保障するには、「教職員定数の改善」「学級編制基準の制度改正」「30人以下学級」の実現が不可欠であり採択すべきである。

議案94号について。反対するものではないが、図書館に関わる予算計上がされている。今まで図書館や複合施設の問題点を指摘してきたが見直されしていない。指摘してきた問題点が現実のものとならないことを祈る。

## 決算審査特別委員会

平成27年度の各会計の決算を審査するため、9月1日に決算審査特別委員会が開かれました。一般会計の歳出総額は、対前年度比3・9%減の253億6500万円余、14の特別会計を加えた歳出決算の総額386億1500万円余を審査しました。

### 歳入

委員 普通交付税の段階的な縮減が始まっていて、収入確保が課題となる。市民負担の公平性の観点から、市税等の収入率の向上をはかるべきではないか。

執行部 税や使用料の滞納額は前年度に比べ若干減少しているが、5億5000万円弱と大きな金額となっている。高梁市市税等滞納整理本部で、高梁市債権の適正管理・回収強化に関する取り組み方針を決定し、各部署で数値目標をたてて実施する。

### 歳出

委員 大規模事業に伴う公債費の増加が見込まれ、扶助費等の増加も避けて通れない課題であり、引き続きの行財政改革が必要ではないか。

執行部 昨年は総合計画の後期基本計画の初年度であり、財政シミュレーションを示したが、不確定要素もあるので毎年総合計画の修正・見直しを行い財政計画を立てるなど、中長期的な視点で財政運営を行っている。行財政改革についても現在検討を進めている。

### 審査結果

決算の審査では各事業に対して、委員から詳しい内容や成果を示すよう求め、執行部はそれぞれの担当部署から詳細な答弁があり、全会一致で認定することと決しました。

## 総務文教委員会

委員 ふるさと納税の返礼品を充実させるとあるがどうなっているのか。

執行部 9月1日から市内企業から公募した特産品36品目の登録でスタートしている。

委員 補正予算の中に、図書館費5100万円の増額がある。どのような内容か。

執行部 西側駐車場工事費の2200万円の純増と、施設西側のプライベート工事費2900万円を委託料から工事費に振り替えたものである。

委員 プライベート工事はもともとあったものか。

執行部 当初設計にはなかったが、協議のなかで必要と判断した。

委員 西側駐車場の工事内容と駐車可能台数はどうか。

執行部 場所は駅前交番横。パー設置やライン引き、駐輪場の屋根を設置する。規模は自動車20台と自転車20〜30台を予定している。

## 9月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○賛成 ●反対 一欠席

件名	石井	石田	石部	黒川	三村	森田	大森	内田	宮田好	小林	柳井	川上修	長江	植田	川上博	宮田公	大月	妹尾	難波	
平成27年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度高梁市一般会計補正予算(第1号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	一	●	○	○	●	●	●	○	○	○

※議長は採決に加わりません。◎他の議案は全会一致で可決しました。

※1 収入未済額…年度内に支払われなかった税金や手数料などのこと

※2 不能欠損処分額…徴収できなくなった税金や手数料を、一定の手続きを経て欠損と認定すること。

### 産業経済委員会

**委員** 住宅リフォーム事業補助金の申請状況はどうだったのか。

**執行部** 当初予算の1500万円は、87件の申請があり3日間一杯になった。今回の補正で1500万円、90件分を追加した。

**委員** 毎年短時間に申請が殺到している。業者からは申請したが枠がなかったとか、市民から使いたい時に使えないとの声がある。出し方など工夫できないか。

**執行部** この補助金の目的は、市民の住環境の整備と地域経済の活性化であり、引き続き研究していく。

**委員** 草刈り業務委託料があるが、高齢化により生活道の草刈りが町内会では出来ないとの声が上がっている。なんとかならないか。

**執行部** そのような声も聞いている。他の課題も含めて町内会支援としてさまざまな形を検討している。

### 市民生活委員会

**委員** 地域振興費の空き家活用促進助成金が1500万円追加されている。どのような状況なのか。

**執行部** 当初予算の1000万円は住宅購入が5件で251万円、家財整理が8件で135万9千円、改修が11件で567万7千円。予算がなくなってきたので、定住や移住促進の目的で追加した。

**委員** この補助金は住宅購入と家財整理、改修とあるが全てが利用できるのか。

**執行部** それぞれ利用できる。最大170万円の補助となる。

**委員** 川上診療所の工事が補正予算で計上されているが、内容はどうか。

**執行部** 福祉棟のエアコン取り替え工事と、男女1基ずつ和式トイレを洋式トイレに改修、照明をLED化する工事である。



### 管外行政視察についてきました!

#### 産業経済委員会

7月7・8日  
岐阜県郡上市・兵庫県朝来市

岐阜県郡上市では、地域への支援を通して、猟師の6次産業化を目指す里山保全組織「猪鹿庁」の取り組みと、モンキードッグ（追い払い犬）を活用した獣害被害対策について視察しました。

兵庫県朝来市では、観光客の動態分析を使った、竹田城や生野銀山の振興について説明を受けました。



岐阜県郡上市での視察

#### 総務文教委員会

7月12・13日  
愛媛県西予市・内子町

愛媛県西予市では、公共事業における官民連携手法（PFI方式）で、駅周辺整備を行っています。契約期間が長いので、コストを削減できる一方、事業者の新規参入が難しいなど課題もあります。

愛媛県内子町では、町内にある重要伝統的建造物群保存地区の街並み保存の取り組みについて説明を受けました。



愛媛県内子町の伝建地区

**Q.** 在宅と施設医療介護の負担格差解消を望む  
**A.** 在宅と施設での生活状況はまちまちであり、地域での取り組みを支援していきたい



森田 伸一

ここを聞きました

- 在宅医療について
- ふるさと納税について

#### 高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画について

**森田** 今、国・県市町村が推進している在宅での医療・介護について、今計画策定の中にはどのような施策を盛り込んでいるのか。

**健康福祉部長** 今後ますます独居高齢者のみ世帯の増加が予測される。この支援策として給食サービスの実施、緊急通報システム・見守りセンサーシステムの設置や、

ちよこつとお助けサービスの実施を盛り込んでいる。宇治地域については、このような施策を先進的に実施されており、市としても各地区社協を中心に設置している第2層協議体の活動を通じた支援・町内会支援の中で考えていきたい。  
**森田** 在宅医療、在宅介護されて

いる家庭と、施設での医療介護をされている方の医療および生活費に大きな格差が生じている。在宅を進めるのであれば格差解消が必要と考えるが方策について問う。

**政策監** 多くの人は、できる限り在宅での医療介護を望んでいる。その思いを実現させてあげることが重要と考える。費用負担については、それぞれにより生活状況がまちまちであり、在宅と施設での費用を比較することは困難である。胃ろうに用いる栄養剤については、保険適用されるものと、そうでないものがあり、在宅の医療介護については、一定の自己負担、家族の負担、そして地域の支え合いも必要と考える。市としても多くの方の思いに沿えるよう施策を進めていく。

**Q.** 農業の土台である水田農業を守ること  
**A.** 水田は主食の米を作るだけでなく、環境も守るうえでも大切なもの



難波 英夫

ここを聞きました

- 農業振興対策について
- 農作物の有害鳥獣被害防止対策について
- 土地改良区の運営について
- 防災行政無線施設について
- 定住促進について
- 消火栓の活用について

#### 農業振興対策について

**難波** 荒廃水田を出さない対策は何か。

**産業経済部長** 日本型直接支払い制度や経営所得安定対策などで中山間条件不利地の営農を支援している。

**難波** 農家の耕作意欲を高めるためには、価格保障制度が必要ではないか。

**産業経済部長** 市の純単独費で行うことは体力的に困難だ。

**難波** 国に対して米価の生産費所得保障制度の創設を求めよ。

**産業経済部長** 国の動向を見ながら提案していきたい。

**市長** 良いものを作ればどんどん売れる。良いものを作る経営努力をしつかり支援する。農業を守る

提案はこれからも国に対して申していく。

#### 農作物の有害鳥獣対策について

**難波** 被害は増大している。実行性のある対策を求めます。

**産業経済部長** 深刻化しており近々の課題だ。防護柵、地域ぐるみの追い払い、駆除班への支援等を行なっている。現在猿の捕獲柵4基を設置し、1基を追加する予定である。

**難波** 捕獲柵や防護柵の補助対象要件の緩和をすること。

**産業経済部長** 自家製の捕獲柵へ補助することは材料の強度基準などの設定が困難でありできない。防護柵の補助は農家への支援が目的である。規模の緩和は難しい。

**Q. 新たな町内会への支援策の検討状況はどうか**  
**A. 来年度実施に向け「高梁市町内会支援新制度検討会議」で議論している**



ここを聞きました

- 防犯灯設置補助金について
- 生活福祉バスについて

**防犯灯設置補助金について**

**宮田** 今年の3月議会で防犯灯設置補助金を廃止した理由を質問したところ、執行部からは「防犯灯も含めて総合的な町内会の支援を検討してまいりたい」と答弁があった。現段階での検討状況はどうか。

**市民生活部長** 4月から町内会の困り事を洗い出し、総合的な支援策を検討している。具体的には町内会への総合的支援策を解りやすくまとめる「見える化」、町内会のさまざまな困り事に対応する支援の「多様化」、申請窓口をひとつにする「簡素化」をもとに進めている。  
**宮田** 市民生活部が検討している町内会への総合的支援と、健康福祉部が検討している要支援者に対する総合事業がある中、課をまたぐ支援策と思うが、どのような組織で検討しているのか。



住民が協力して草刈(佐与谷川付近)

市民生活部長 総合的支援は総合事業を補完するもので、それぞれの担当課長を中心に「高梁市町内会支援新制度検討会議」を組織し、その下部の実務担当者で組織する専門部会で、具体的な支援策を議論している。

**Q. 第6期介護保険事業計画の現況は?**  
**A. 総合的に高齢者の生活を守るシステムの構築に取り組んでいく**



ここを聞きました

- 地域包括ケアシステムについて
- 定住対策について

**地域包括ケアシステムについて**

**小林** 第6期介護保険事業計画の現況はどうか。

**政策監** 高齢者が安心・安全に過ごすことができる社会を実現していくためには「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」が切れ目なく提供される態勢、いわゆる地域包括ケアシステムの構築が重要となっている。総合的に高齢者の生活を守るシステムの構築に取り組んでいく。  
**小林** 全国の医療ネットワークの中でも最も進んだものとして国や医療業界からも高い評価を受けている「晴れやかネット」。高梁市では「やまぼうし」として「ケアキャビネット」の利用がされている。本市の取り組みを問う。

**政策監** 「やまぼうし」は、在宅医療患者の情報共有ツールとして活用している。訪問看護時、療養患者の症状を写真にアップすることで医師の判断や指示を瞬時に仰げるメリットがある。都市部と違い、中山間地である本市では、訪問看護や訪問介護の効率を低下させる移動時間を「やまぼうし」の活用により、早い治療、良質な介護サービスの提供が可能になり有効な手段であると考えている。今年度は岡山県からの財政補助があるが、次年度以降は不透明であり、「やまぼうし」の普及拡大につながるために何らかの支援が必要であり、検討したいと考えている。

**Q. 県道新見川上線の改良見通しは?**  
**A. 重要路線として県に要望する**



ここを聞きました

- 合併後12年を振り返り、周辺地域の状況をどのように考えているのか
- 有害鳥獣駆除について

**合併後12年を振り返り、周辺地域の状況をどのように考えているのか**

**川上** 周辺地域のインフラ整備をどう考えるのか。  
**市長** 生活インフラの第一は道路、水道と考えている。必要に応じ今後も対応していきたいと思っ

ている。  
**川上** 県道新見川上線の改良見通しはどうか。  
**市長** 県道新見川上線については、最も重要な路線として県に要望している。  
**川上** 新規就農者対策はどうしているのか。  
**市長** 地域での取り組みに関しては市としても応援していきたい。  
**川上** 教育の急激な変化にどのように対応していくのか。  
**教育次長** 放課後子ども教室など地域の力を借りた取り組みも重要

と考える。  
**川上** 富家小学校、備中保育園を今後どのように考えていくのか見通しを聞く。  
**教育次長** 地域の皆様としっかりと協議をしていきたいと考えている。  
**川上** 学校跡地の活用をどうするか。  
**教育次長** 地元としっかりと協議をして進めていきたい。  
**川上** 地域の診療所のあり方をどうするののか。  
**政策監** 地域に定着した医療サービスがしっかりと提供できるように検討していきたい。

**有害鳥獣駆除について**

**川上** 有害鳥獣駆除をどうするのか。  
**市長** 総合的に考え対応していきたい。  
**産業経済部長** サルについては、西部地区においても人材があればご紹介いただきたい。

**Q. ごみ出し困難者の個別収集を**  
**A. 町内会の支援策として考える**



ここを聞きました

- 今後のごみ処理のあり方について
- 水道料金の今後について
- 国保税について
- 学校給食費の軽減について
- 合併と地域局や市民センターの今後について

**水道料金の統合について**

**石部** 今後、上水道と簡易水道を統合した場合、利用者負担はどうなるのか。  
**産業経済部長** 独立採算が原則で運営している。緩和措置後は5億3000万円以上足りなくなる。  
**石部** ほぼ全市民が加入している水道事業。一般会計からの繰り入れをしたらどうか。  
**市長** 長期的財政運営と市民サービス全体の中で考える。

**周辺地域の対策について**

**石部** 地域局や市民センター等の人員増と機能強化を求める。  
**総務部長** 地域局や市民センターは市民との最前線であり、対応に不十分な点があるならば職員の指導強化が必要と考える。

**Q. 備中高梁館の運用について**  
**A. 施設のメリットを生かす活用を考える**



ここを聞きました

- 市道名の変更について
- 国県道改良について
- 備中高梁館の運用について

**市道名の変更について**

**三村** 平成25年6月議会会で市道名を高梁にゆかりのある人物名に変更してどうかと質問したが、その後どのような対応をしているのか。前向きに検討する回答をもらったが、あれから3年以上経過している。進捗状況を聞く。

**市長** 愛称の付け方や広報など、今後研究していきたい。

**三村** 今後どのように進めるのか。インパクトのある案内看板は必要ではないか。

**市長** 内部で検討し市民の皆さんと一緒に考えていきたい。

**国県道の改良について**

**三村** 毎年、年度初めに県に国県道の改良要望を出しているが、そ

の内容について問う。要望書類の内容に不十分な箇所が見受けられるが認識しているのか。  
**産業経済部長** 写真についても位置の確認だけでなく必要性、緊急性を含めたものに改善していきたい。

**備中高梁館について**

**三村** 東京都杉並区にオープンした備中高梁館の運用をどのように考えているのか。  
**政策監** 新築によって今後は販売回数に関係団体と協議する。また、施設はイベント、各種会議に利用できるの、周辺地域、杉並区と連携して施設のメリットを生かす活用を考える。

**Q. 今の行政の仕組み、税金で人を集める政策、手法に限界がきているのでは**  
**A. 地域、各種団体と連携しながら、消費喚起、民間投資を促していく**



ここを聞きました

- 高梁市における公会計改革推進及びその進捗状況と総合戦略、地域創生について
- バイオマス（生物、植物由来）資源を核に地域資源を使った持続可能な循環型地域社会の構築と経済振興について

**公会計改革推進と地域資源を使った持続可能な循環型社会構築、地域創生、経済再生について**

**大森** 市内の貯蓄が投資に回っていない。一方、若者の低所得が結婚の阻害要因に。また、市長の政策決定過程における情報の非対称性の問題も地域創生推進の阻害要因の一つになっているのでは。  
**市長** お金が市内を循環していない。雇用創出は進んでいるが所得が市外へ漏出。市内に住み、働いてもらうことが重要。それには医療、教育が大きな課題に。情報公開、格差については検証する。

**大森** 地域に眠っているお金、資源を産業構造分析などの経済分析を用いた公民連携（PPP、PFI）で好循環の仕組みづくりを。  
**市長** そういった手法は本市に大

きなメリットがある。今、金融機関とそのスキームづくりを進めている。  
**大森** 人口減少は止められない。駅前複合施設が象徴する税金に頼ったまちづくりから、フルコストを意識した複式簿記、公共施設マネジメントを導入した公共経営へ。縮小社会での公共経営には、新たな付加価値の創造が求められている。若者、女性が活躍でき、高齢者も生きがいを感じるような政策、とりわけ市外に出て行った若者や移住者がそのスキル、ノウハウを生かせる産業を。箱モノをつくったら終わりではない。多様な産業創出、構築とそれらをマッチングさせる仕組みづくりが重要。それが山田方谷のDNAである。  
**市長** しっかりとそういった仕組みづくりを勉強し、つくっていく。

**Q. 学校統合に関する審議会は設置するのか？**  
**A. 本年度を目途に設置する**



ここを聞きました

- 今後の小中学校のあり方について
- 空き家対策について
- 旧「ゆ・ら・ら」の活用について
- 観光について

**学校統合のあり方を審議会で議論**

**石井** 6月定例会での最後の挨拶で、市長が学校統合に関する審議会の設置について意見を述べたが、どう検討していくのか。  
**教育長** 学校統合には2つのやり方がある。一つは今までのように教育委員会が地元に向いて保護者や地域と話し合いをする方法。もう一つは旧高梁市が中学校でやったように、審議会を作って答申を持って進めていく方法がある。年度内を目途に審議会を設置し、学校統合のあり方について話し合いを進めていきたい。

**石井** 審議会の構成はどのようなメンバーになるのか。  
**教育長** これから話し合うが、議



昭和50年に廃校になった落合小学校原田分校跡に残る体育館の建物

員の方にも入ってもらおう。ほかにも地域の方や関係団体の方など、もろもろの方をお願いすることになる。旧高梁市で昭和59年に審議会を設置している。その時のデータなどを参考にしながら考えていく。総合教育会議等もあるので、市長部局とも話し合ってメンバーを選んでいく。

**Q. コシヒカリの一等米60キロを17,000円で購入できないか**  
**A. 返礼品としては数キロ程度の米を考えている**



ここを聞きました

- 子供たちの学力向上に向けた新たな取り組みについて
- 農業の活性化に向けた取り組みについて
- ごみ焼却施設の現状と更新に向けた今後の方針について
- 旧「ゆ・ら・ら」と周辺施設との相乗効果を生かした神原スポーツ公園エリアの再生について
- 市長は今期における自身の行政運営について、どのように自己評価するのか

**宮田** 吉備中央町ではふるさと納税を活用して、コシヒカリの一等米60キロを1万7000円で購入し農業振興策としている。高梁市の主産業は農業でありその中でも水稲の割合は高い。対策を取るべきではないか。  
**産業経済部長** 高梁地域はあきたこまちの作付けが多く、二等米の比率が高い。また、吉備中央町ほどの収量を確保できない。そのため、ふるさと納税の返礼品としては数キロ程度の米を考えている。  
**宮田** 長野県阿南町では、吉備中央町と同様の方法で得た寄付金の全額を農業振興に充てている。農地が荒廃すれば当然、側溝や作業道などの周辺部分も荒廃していく事となる。それがひいては地域全体の荒廃へと繋がっていきかね

ない。少しでも農地荒廃を防ぐために、農業環境を維持・保全していくという観点から、農業機械への補助金を今以上に手厚くすべきではないか。  
**市長** 総合的に考えていきたい。



荒廃していく農地

※1 \*市内の貯蓄が投資に回っていない…\*Y（高梁市総生産GDP=市民所得）=C（市内消費）+I（市内民間投資）+G（市の支出=公共事業他）+X（移出=吉備大生や観光客の消費、ピオーネ、トマトなどの農産物や工業製品他）-M（移入=鉄、セメント、石油などの原材料）。市民、地域全体の所得を上げるには、公共事業などの財政支出だけではだめ。民間投資を促した城内好循環型産業振興、環境づくりが重要。  
 ※2 情報の非対称性…市の政策決定及び過程における市と議会、市民との情報格差、偏りのこと。地域が発展するためには、相互の十分な情報共有が必要。



# 高梁城南高等学校 コラボレートX 第11弾 高梁市議会

**議会を傍聴しませんか**  
本会議および委員会は公開を原則としており、傍聴ができます。実際に傍聴されれば、紙面では伝えることのできない会議や議員の活動がよく分かると思います。

今回の表紙を飾っていただいたのは、高梁城南高等学校デザイン科2年生の稲富琳子（いなとみりこ）さんの作品です。夕日に照らされた薬師院の山門を描いてくださいました。

作品のポイントは、夕方の雰囲気と緻密に描いた石塔。特に、光と影の表現方法が難しかったとのことでした。これからの自身の課題については「様々なデザインを学び、それらを取り入れながら自分らしい作品を制作していきたい」と語ってくださいました。そして、将来はデザイン関係の職業を選びたいとのこと。さまざまな芸術に触れながら、さらに表現の幅を広げてほしいと思うのでした。

## 気になるスポット The spot of Takahashi

### わが街の明治日本の産業遺産 (吉岡鉱山－成羽町坂本－)

平安時代初期(807年)に開坑されたと伝えられている吉岡鉱山。江戸時代には住友家(泉屋)、大塚家が経営し、幕末には備中松山藩が領有した。明治時代になって岩崎弥太郎が設立した三菱商会が経営に乗り出した。従来の労働環境を改め、また機械化を進めた。明治36年には第一笠神発電所が完成、同44年、伯備線の開業よりも早く、吉岡鉱山の坑内をゼネラルエレクトリック社製の電車が走り始めた。発電所からの電力を変換するためのレンガ造りの建物は今でも草深い中にたたずんでいる。

写真上「ゼネラルエレクトリック社製電車」  
写真下「電車用直流変換機室」



## 編集後記

今回の市議会議員選挙により、新たに18名の議員が誕生しました。各候補者は選挙期間中皆様のお話を伺うことで今後の課題を再認識したのではないかと思います。他方で今回の投票率が65.98%と前回は10ポイント以上下回り、また、多数の無効票があったことから、市政に対して厳しい目が向けられていることを実感することとなったのではないのでしょうか。

次号から新たなメンバーでの発行となりますが、これからもよろしくお祈りします。  
(石田 芳生)

編集

議会広報調査特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 宮田 公人 |
| 副委員長 | 宮田 好夫 |
| 委員   | 森田 一夫 |
| 委員   | 大森 仲生 |
| 委員   | 石部 誠  |
| 委員   | 石田 美生 |
| 委員   | 石井 聡美 |

「意見はこちらまで」

高梁市議会事務局

高梁市松原通2043

0866-1210276